

津山中央病院 連携広報誌

2024年
12月号

メディネット



Vol.254



森の芸術祭（奈義町）

撮影 徳田名誉院長

私たち津山慈風会は、地域の皆さんにやさしく寄り添います

Topics

緩和ケア病棟について

緩和ケア病棟について

津山中央病院 N3階病棟 師長
緩和ケア認定看護師

うえはら のりこ

上原 徳子

略歴

2003年 岡山赤十字看護専門学校 卒業

2012年 津山中央病院 就職

2014年 緩和ケア認定看護師 取得



2023年7月に緩和ケア病棟を開設し、約1年4ヶ月が経過しました。これまでに延べ170名の患者様が病棟を利用されています。患者様とご家族に寄り添い、一人一人のニーズに応じたケアを提供するよう心がけてきました。入院された患者様からは「対応がとても丁寧で寄り添ってくれた」「長い入院生活を落ち込むことなく楽しく過ごせた」、ご家族からは「心強かった」などのお声をいただいています。また、静かでゆっくり過ごせる環境を提供出来ることは緩和ケア病棟のメリットだと考えています。デイコーナーや廊下は季節に合わせた装飾を行い、季節感や温かみを感じられるような空間になるよう工夫しています。

身体的苦痛のある患者様に対しては、薬剤調整や他の医療的処置、非薬物療法などを組み合わせながら、症状緩和を行います。また、患者様と相談しながら清潔ケアの実施や、気分転換活動を取り入れ、気持ちや和らいだ状態で過ごせる時間を提供しています。最期までトイレでの排泄を希望される方、誰かに側にいて欲しいと強く願う方、生きることや死に対するつらさを表出される方、一人一人の患者様と向き合うことは簡単ではありませんが、どのような支援が出来るのか、日々悩みながら看護を行っています。

病棟の体制としては、患者様の身体的、精神的、社会的なニーズに応えられるよう主治医、病棟看護師、薬剤師、理学療法士、臨床心理士、管理栄養士、緩和ケアチームなど、多職種で連携し、ケアを提供しています。治療中から患者様と関わってきた主治医が担当を継続するため、患者様やご家族からは、続けて診てもらえるという安心感に繋がっているようです。

医療的な処置に関しては緩和ケア病棟では行えないこともありますが、一般病棟と協力しながら、患者様に必要な処置や症状緩和が出来るような体制となっています。これまで、苦痛緩和や退院調整目的での入院、病状悪化による緊急入院の患者様を多く受け入れてきましたが、在宅療養を継続している患者様のレスパイト入院も積極的に受け入れを行いたいと考えています。

緩和ケア病棟をご利用いただくためには、事前の緩和ケア外来受診が必要となります。当院にかかっておられる患者様は主治医へご相談ください。他院から紹介の患者様に関しては主治医決定後に緩和ケア外来へ紹介となりますので、まずは主科への紹介をお願いします（図1）。病棟見学も随時対応しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

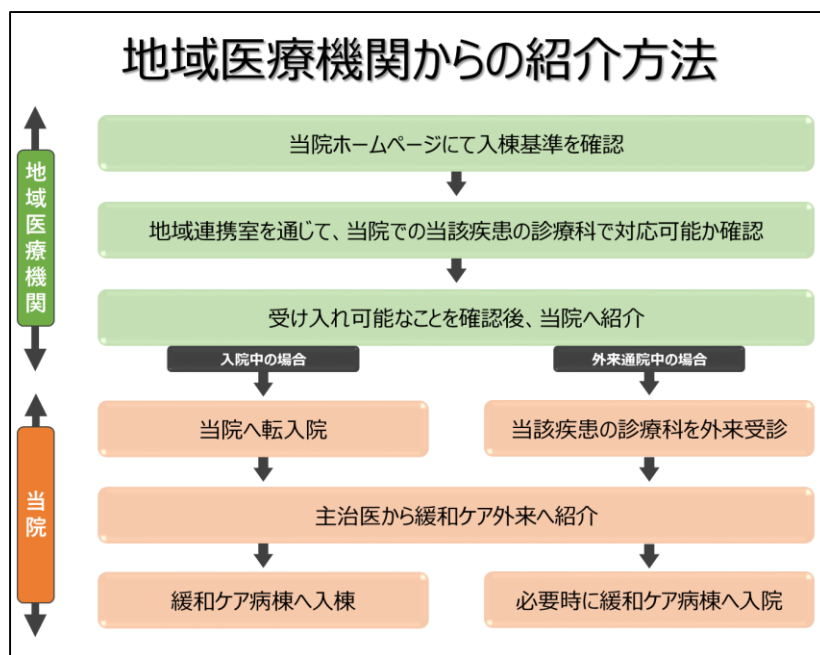


図1：地域医療機関からの紹介方法



緩和ケア病棟

第8回 連携登録医懇親会 開催報告

去る2024年10月17日（木）、第8回 連携登録医懇親会を開催しました。

平素よりお世話になっている連携先の先生方、コメディカルスタッフ、および行政機関の方を含め、総勢142名の方々にご参加いただき、当院から参加したスタッフ70名と親睦を深めていただきました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

これを機により一層、顔と顔が見える関係をめざして、地域医療の発展に貢献して参ります。



セミナー・講演会情報

●CC セミナー（Web 併用のハイブリッド形式）

講演 『 当院での脳卒中治療について 』

- ・講師 脳神経外科 部長 小川 智之 先生
- ・日時 2024年12月10日（火）19：00～20：00
- ・場所 津山中央病院 研修センター2F 講義室